



城北小だより

2月号

令和6年1月31日

さいたま市立城北小学校

TEL 048-757-5391

児童数701名

◇学校教育目標◇

「考える子 思いやりのある子 がんばりぬく子」

人とのつながり

校長 中村 篤

メジャーリーガー・大谷翔平選手から日本全国の小学校に寄付されたグローブが本校にも届きました。ダンボールの箱を開けると3つのグローブが入っていました。ここで疑問が浮かびます。なぜ3つなのか。2つあれば2人でキャッチボールができるのではないかと思いましたが、寄付をサポートしたニューバランス社の説明とグローブの内訳を見て納得しました。右利き用のグローブ2つだけでなく、左利き用のグローブをもう1つ送ることで、みんなで野球を楽しんでもらいたいという大谷選手の優しい心配りをそこに感じることができました。また、右利き用のグローブの1つはサイズが一回り小さいもので、体の小さな児童も使用できるよう、ここにも細かな配慮がなされていました。



箱の中にはもう1つ大谷選手からの手紙も同封されていました。その一部を紹介します。

(前略) この3つのグローブは学校への寄付となります。

それ以上に私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるためのシンボルとなることを望んでいます。それは、野球こそが、私が充実した人生を送る機会を与えてくれたスポーツだからです。

このグローブを学校でお互いに共有し、野球を楽しんでもらうために、私からのこの個人的なメッセージを学校の生徒たちに伝えていただければ幸いです。(後略)

野球しようぜ。

大谷選手は自分の才能について「好きなことに関して頑張れる才能はあると思います」と語っています。大谷選手のすばらしいところは、「自分が好きなことに対して努力をすること」で幸福感を得ているところです。このグローブをきっかけとして、子どもたちに大谷選手の前向きな姿勢や考え方について話をしていきたいと考えています。グローブの具体的な扱いについてはまだ未定ですが、大谷選手の気持ちに伝えられるよう工夫して活用してまいります。

1月24日に本校体育館にて、6年生がコートジボワールの方々と文化交流会を行いました。さいたま市とコートジボワールの生活や文化について互いに紹介したりビーズアクセサリを一緒に作ったりと、素敵な時間を過ごすことができました。また、迫力のあるアフリカのダンスも披露していただきました。最後は簡単なダンスを教えていただき、子どもたちはノリノリで踊っていました。きっとコートジボワールのことを大好きになったと思います。この交流を通して、子どもたちがいろいろな国の文化について興味・関心をもってくれることを期待します。



新型コロナウイルス感染症対策による制限が解除され、今までできなかったことがようやくできるようになりました。何よりも子どもたちが生き生きと活動している姿に喜びを感じています。今後は地域の方々との交流もさらに深めていきたいと考えています。その際にはぜひご協力をお願いいたします。